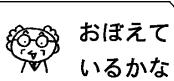


小／算数／4年／数と計算／
わり算／理解シート

わり算は、どんなときに使われるの



3年で学習したわり算では、次の2つの場合に、わり算が使われることは覚えていませんね。もう一度たしかめてみます。



$12 \div 4 = 3$ のわり算の式でたしかめてみよう。

① 4人に分ける。

- 12このあめを4人に同じ数ずつ分けると、1人分は3こ。

$$(あめ) \div (\text{人数}) = (\text{1人分})$$

$$12 \div 4 = 3$$

- このように、12こを4人に同じ数ずつ分けるときの1人分の数を求めるときに使われます。

② 4こずつ分ける。

- 12このあめを1人に4こずつ分けると、3人に分けられる。

$$(あめ) \div (\text{1人分}) = (\text{人数})$$

$$12 \div 4 = 3$$

- このように、12こを1人に4こずつ分けるときの人数を求めるときに使われます。

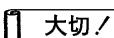
③ 4年生では、120このあめを40人に分ける1人分は何こ

$$120 \div 40 = 3 \quad \text{1人分は3こ}$$

120このあめを1人に40こずつ分けると何人に分けられる。

$$120 \div 40 = 3 \quad \text{3人に分けられる。}$$

③のことが
4年で学習
するわり算
だよ。



上の2つの場合にわり算は使われます。これは、

$150 \div 30$ のように、数が大きくなっても同じです。